

The 81st Spring Exhibition of the Japan Art Institute

春の院展

日本美術院の重鎮から新鋭画家まで、現代の日本画を一堂に展覧。



鈴木恵麻「記憶の海」(春季展賞、第17回春の足立美術館賞)

新館

2026年

6月6日(土) — 6月21日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時30分 会期中無休

【入館料】大人 2,500円/大学生 2,000円/高校生 1,000円/小中学生 500円 (20名様以上で団体割引があります)

◎上記の入館料で「第81回春の院展」の他、日本庭園や本館、魯山人館で開催中の展覧会など、すべてをご覧いただけます。

◎公立学校が休校日となる土曜日は、小中高生の入館料を無料といたします(要学生証提示)。

【主催】日本美術院・足立美術館・山陰中央新報社・TSKさんいん中央テレビ

【後援】NHK松江放送局



〒692-0064 島根県安来市古川町320 TEL.0854-28-7111 足立美術館ホームページ <https://www.adachi-museum.or.jp/>

【交通】●飛行機/米子空港から車で45分・出雲空港から車で50分 ●JR/安来駅から車で15分

【無料シャトルバス運行中】JR安来駅より、便利な無料シャトルバスを毎日運行しています。お気軽にご利用ください。


足立美術館
ADACHI MUSEUM OF ART

春の院展

第81回



手塚雄二「叶乃龍」

The 81st Spring Exhibition of the Japan Art Institute



國司華子「放電君」

「院展」の名で親しまれる日本美術院は、1898年(明治31)に創立された美術団体です。横山大観らが中心となり、新しい時代にふさわしい日本画を切り開くための研究に打ち込みました。一時活動を休止しますが、1914年(大正3)に再興。その後も今日にいたるまで、院展は優れた画家を輩出し、画壇を代表する団体のひとつとして重要な役割を果たしています。

「春の院展」は、院展の小品展として1945年(昭和20)より始まった展覧会です。限られた画面サイズだからこそ、より斬新な表現に挑戦する画家たちの力作が並び、大型作品が展示される再興院展とは異なる魅力があります。

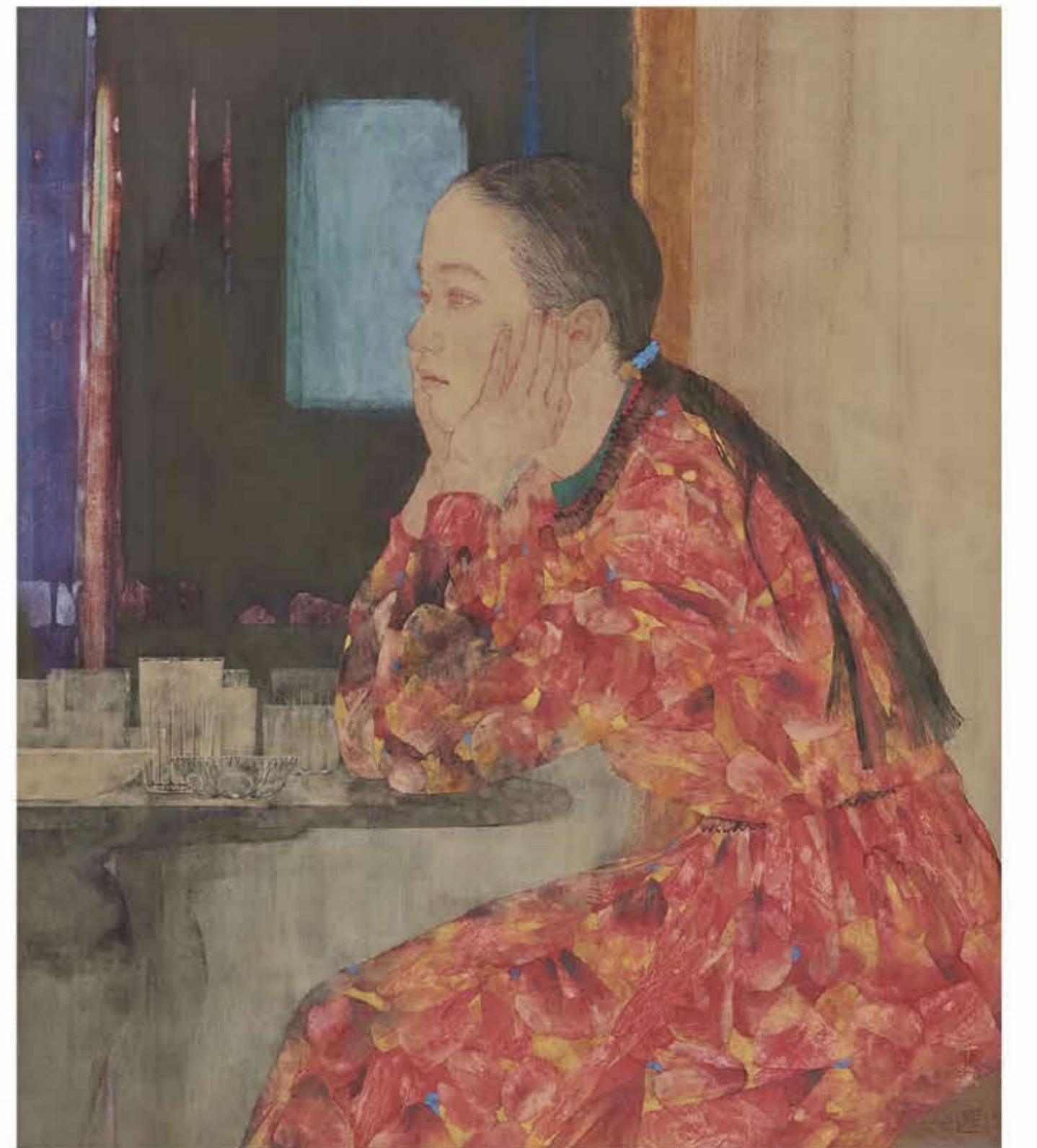
足立美術館では、2010年(平成22)より毎年巡回している再興院展に加え、2021年(令和3)からは春の院展も開催しています。当館では、日本美術院同人の新作や各賞の受賞作など、総数140点を展示いたします。ぜひ、この機会に現代日本画の魅力をご堪能ください。



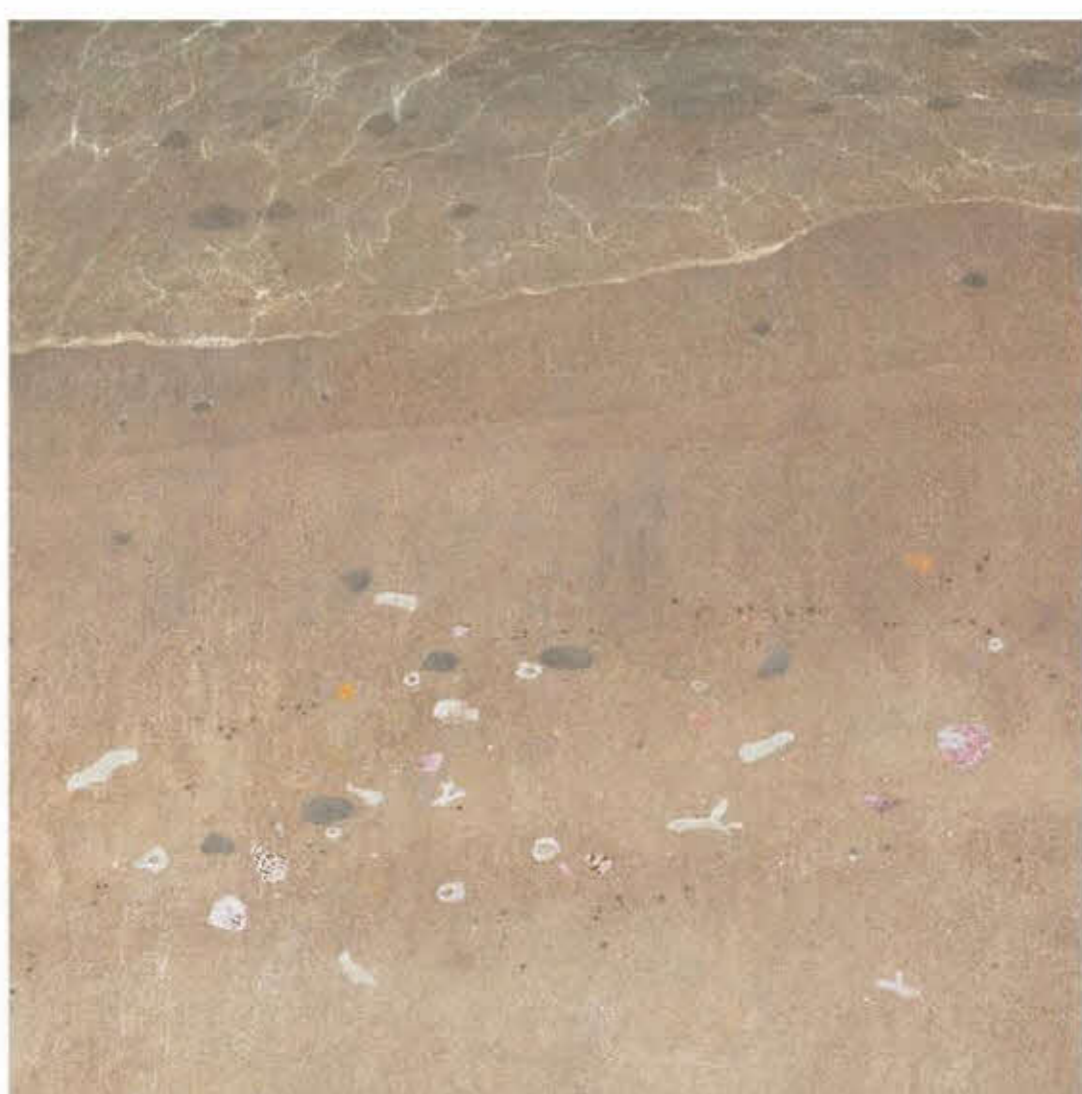
山本浩之「言いたいことば」



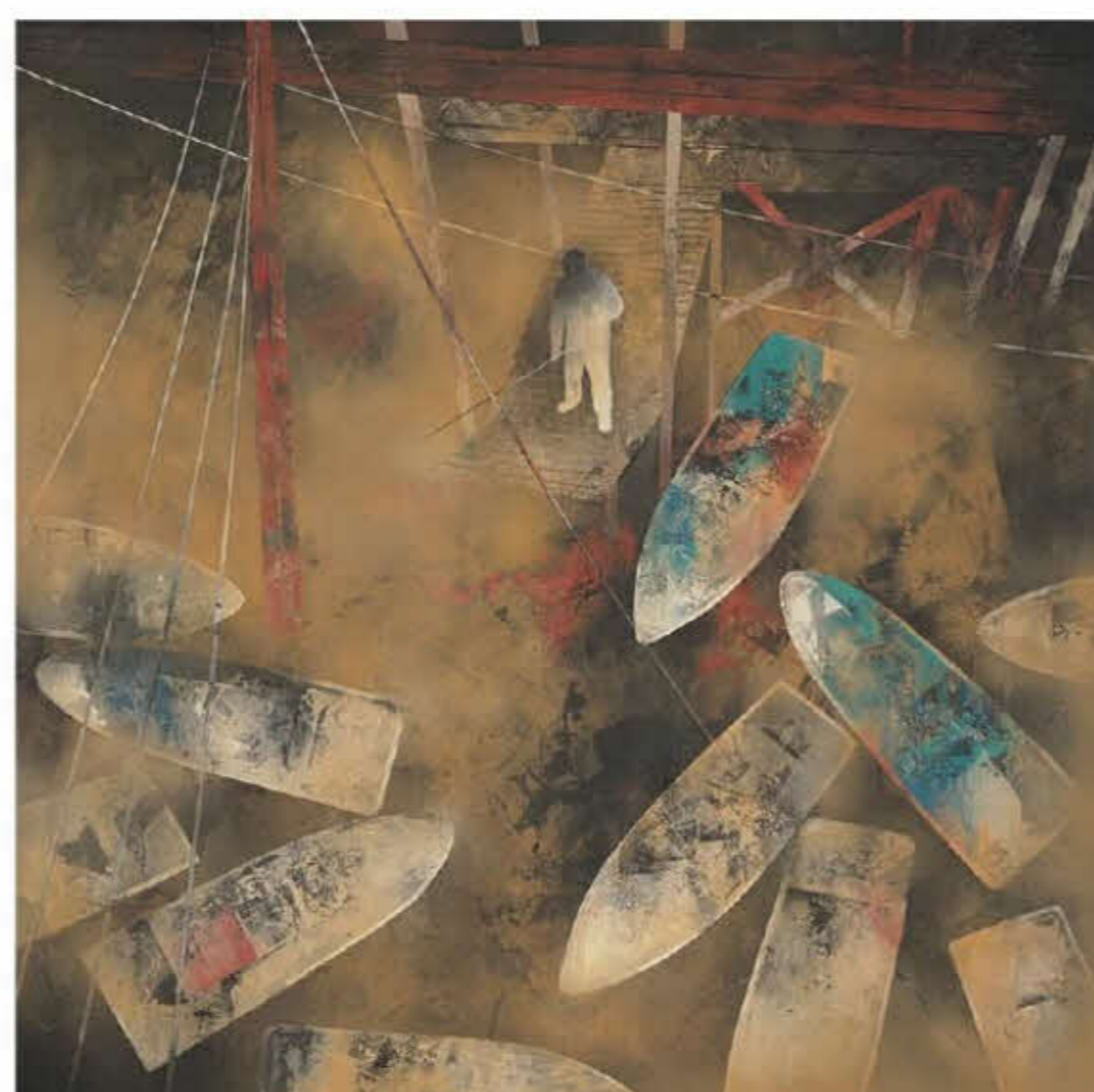
松村公嗣「飛翔」



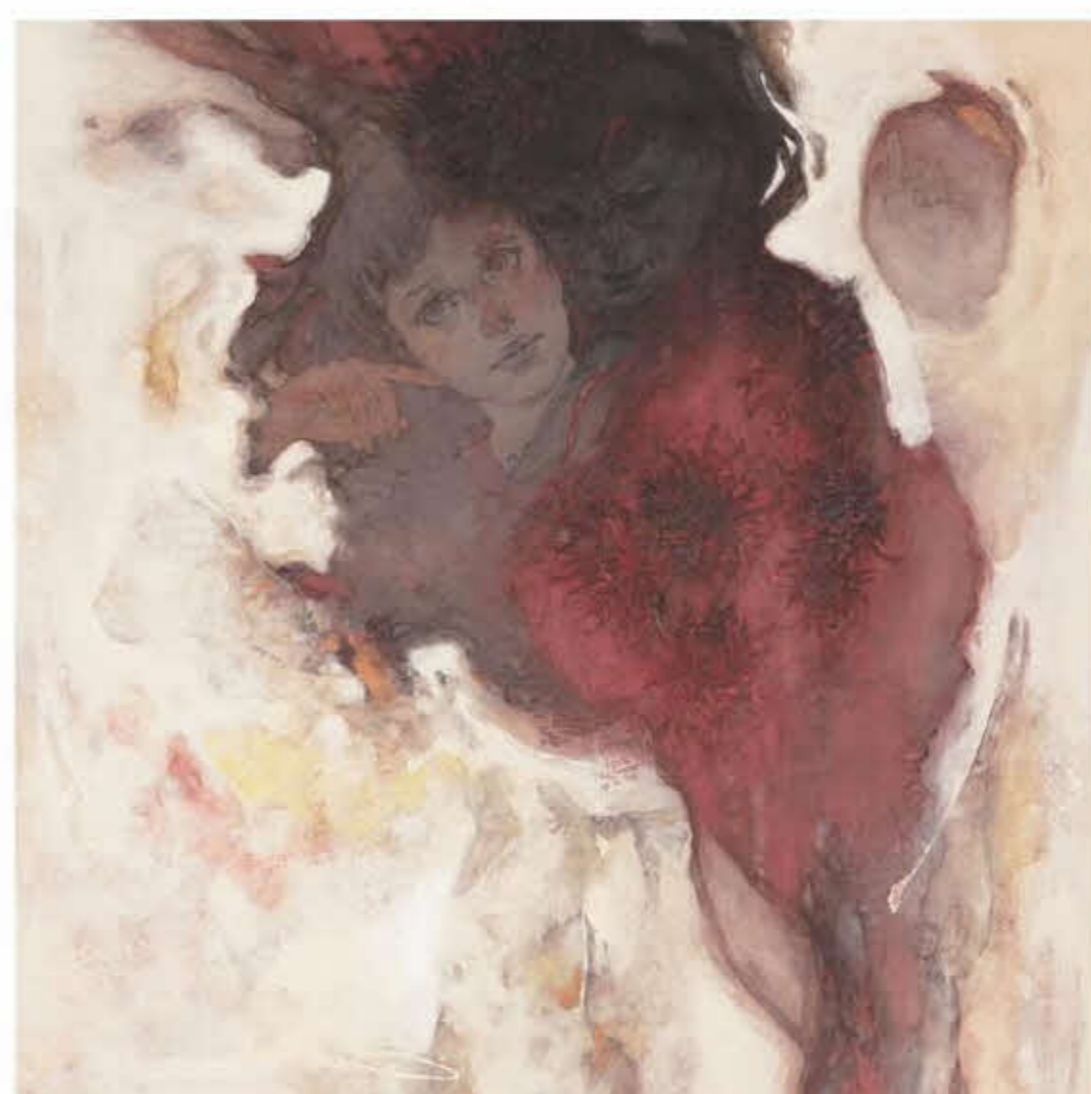
宮北千織「雪になる」



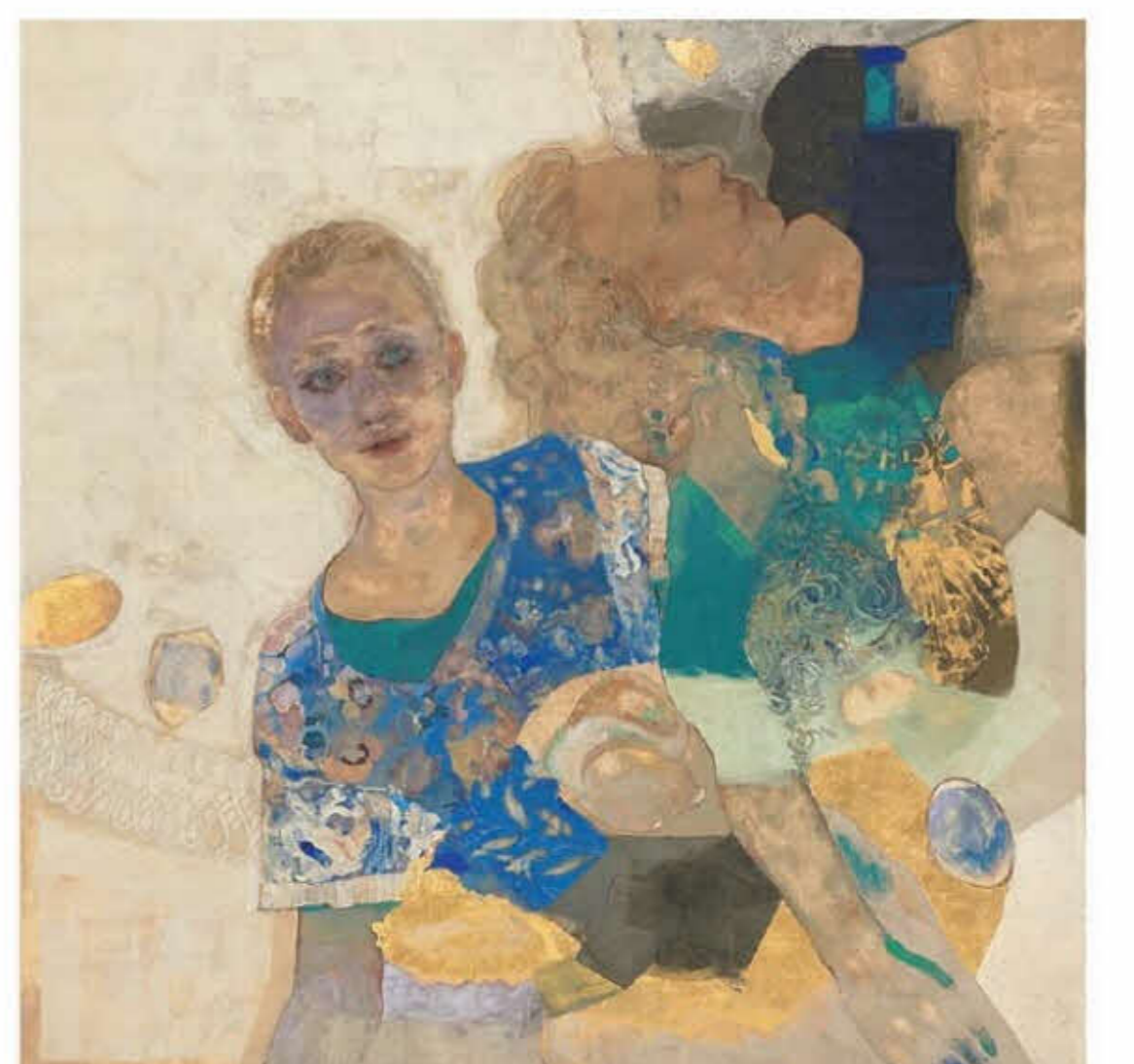
清水 操「優しい贈り物」(春季展賞・郁夫賞)



岩谷晃太「舟を手繰る」



坂根輝美「ダブルバインド」



濹澤 青「Sea of Light」

日本美術院同人(本展出品)

下田義寛 伊藤彰耳 田淵俊夫 那波多目功一 手塚雄二 福王寺一彦 梅原幸雄 西田俊英 松村公嗣 大矢 紀 高橋天山 吉村誠司
 村上裕二 倉島重友 清水由朗 齋藤満栄 小田野尚之 宮北千織 大野逸男 北田克己 村岡貴美男 井手康人 中村 譲 國司華子
 藁谷 実 岸野 香 松本高明 番場三雄 高島圭史 山本浩之 山田 伸 前田 力